

衛研だより

vol.
63

目次

- 所長就任のご挨拶 P1 ○知っていますか？食品添加物について P3
○エイズってなあに？ P2 ○感染症トピックス その咳、百日咳ではありませんか？ P4

写真：白鷺公園のハス

所長就任のご挨拶

堺市衛生研究所長 山本 憲



平成30年4月1日付けで堺市衛生研究所 小林 和夫前所長の後任として、堺市健康福祉局健康部衛生研究所長を拝命し、着任いたしました。

私は平成2年に大阪大学医学部を卒業後、同附属病院にて1年間小児科医として研修後、平成3年から4年間大阪大学微生物病研究所（生理系：発生遺伝学講座、分子生物学）で大学院を修了した後、4年間は米国国立衛生研究所（NIH/NIDDK）で Visiting Fellow、平成11年から5年間香川医科大学第二生理学教室（現香川大学医学部）で助手としておもに遺伝子修復機構の研究に従事いたしました。平成16年からは兵庫医科大学、大阪大学医学部、東大阪市立総合病院（現市立東大阪医療センター）、大阪労災病院で病理医として勤務したのち堺市に入職し、中保健センターで3年間勤務いたしました。

衛生研究所は地域における科学的・技術的中核として保健衛生行政に科学的根拠を提供することで公衆衛生の向上を図り、市民の健康保持・増進に寄与することを目的として、試験検査、衛生情報の収集・解析・発信、調査研究、技術指導・研修、健康危機事例への対応など広範な領域に及び業務を行っています。

病院勤務から保健センターに着任した際にも業務内容の広範さ・多彩さには驚く点が多々ありましたが、衛生研究所が担っている機能も広範囲に及び普段は目立たないながらも市民の健康に対し重要な意味を持っているものと感じています。

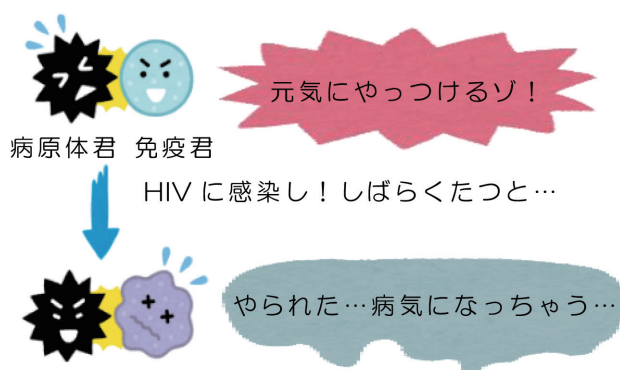
小生の堺市とのかかわりは大学在学中からですが、当時の記憶と現在の状況とを比べると、衛生研究所近くの宿院交差点周辺では阪堺電車とフェニックス通りのソテツは残っているものの様子は相当に変わり、およそ30年間の変化を感じさせられました。深井駅や中百舌鳥駅周辺の変化にも驚かされましたが、都市化や人口構造の変化、さらには近年の海外との人的交流の増加などを加味した衛生研究所のあり方を心掛ける必要を痛感いたしております。

不案内な点多々あろうかと思いますが、今後とも御支援・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

エイズってなに？

エイズ（Acquired immunodeficiency syndrome：後天性免疫不全症候群）とは

HIV（Human Immunodeficiency Virus：ヒト免疫不全ウイルス）というウイルスに感染すると、ヒトの体を細菌、カビやウイルスなどの病原体から守る免疫細胞がどんどん減ってしまいます。その結果、健康な人なら感染し病気にならないような病原体にも感染し、さまざまな病気を発症します。この状態をエイズと言います。日本では毎年、HIV感染者、エイズ患者合わせて、新たに約1500人の報告があります。



感 染 経 路	性的接触が主で、他に血液感染、母子感染など
予 防	ウイルス保有者の血液、精液、膣分泌液、母乳などにウイルスが含まれている可能性があるため、それらに傷のある皮膚や粘膜で触らないことです。握手、入浴等の日常生活では感染しません。
治 療	薬によってHIVの増殖を抑え、エイズ発症を防ぎます。 早く治療を始めることで、HIVが検出限界以下になれば人に感染させる可能性がほとんどなくなり、感染していない人と変わらないくらいの日常生活を送れるようになることが期待できます。

堺市でのHIV検査

堺市では各保健センターにて月一回のHIV検査を受付けています。他にも、その日に結果がわかる即日検査や、夜間（18時30分～20時）に受付をする夜間検査を行っています。

平成29年度から抗HIV-1,2抗体に加え、p24抗原を測定できる機器を導入し、HIV感染がより早期に発見できるようになりました。また、平成30年度からは、即日検査でも抗原抗体を同時測定できる試薬を導入しています。

HIV 検査の流れ

- ➡ 堺市内の各保健センター等にて受付（※匿名可）
- ➡ 事前説明・相談
- ➡ 採血（約 5mL の血液を採ります）
- ➡ 約 1 週間以降の指定日時に検査結果受け取り（※即日検査の場合は検査当日に結果受け取り）



日程等は堺市ホームページから確認できます。

（ウイルス検査担当 福井）

知っていますか？食品添加物について

食品添加物において、近年“無添加”や“食品添加物不使用”というパッケージを見ることが多くなり、食品添加物に対する関心が高まっています。今回は、食品添加物の基本的なことについて紹介します。

食品添加物とは？

食品添加物とは、食品の製造過程、または食品の加工・保存等の目的で使用されるものです。食品添加物にはいろいろな用途があり、たとえば、豆腐の製造には凝固剤が使用されるほか、食品中の微生物やカビの繁殖を抑え腐敗を防ぐために保存料等が使われます。また、見栄えや風味を良くするために着色料や調味料等が使われています。

用 途	主な食品添加物
製造のために必要	凝固剤、乳化剤、増粘剤、膨張剤等 
保存性を高める	保存料、防カビ剤、酸化防止剤等 
色調を良くする	着色料、発色剤等 
風味を良くする	甘味料、調味料、酸味料等 
栄養強化する	ビタミン等 

食品に使用できる量

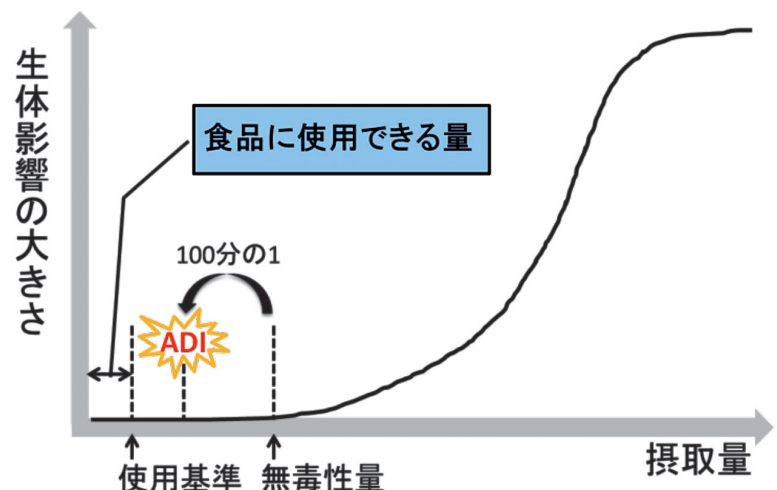
食品添加物は、安全性が確認でき厚生労働大臣が認めたものだけが使用できるようになっています。さらに食品ごとに使用基準（使用量）が定められています。

国際的な機関が無害と確かめた量（無毒性量）の通常100分の1の量を一日摂取許容量（ADI）としています。ADIとは、人が生涯にわたって毎日摂取し続けても、健康への悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量のことです。このADIを超えないように法律で使用基準が定められています。

安全・安心への取り組み

安全性が確認された食品添加物は、今日私たちの食生活には欠かせないものとなっています。適正な量を適切な食品に使用することで私たちの食生活は守られています。また、日本と外国では認められている食品添加物の種類や使用量が異なる場合もあり、輸入食品への監視も大切です。

当所では、適切に食品添加物が使用されているかの検査を行い、食の安全安心の確保に努めています。



（食品検査担当 田野）

百日咳は今まで一部の小児科の医療機関からの報告のみでしたが、平成30年1月1日から全数把握疾患となり、医師が診断すると必ず届出するように変更されました。このことで、小児だけではなく、成人を含めた発生動向の把握が可能となりました。今回は、第26週まで（7月1日まで）の最新データをご紹介します。

百日咳とは

病原体	百日咳菌
感染経路	咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌による感染（飛まつ感染）
症状	7～10日程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、徐々に咳が強くなっていきます。その後、次第に特徴のある発作性でけいれん性の咳となります。
治療	抗微生物薬を使用します。
予防対策	ワクチン接種（三種、四種混合ワクチン）が有効です。また、飛まつ感染予防に手洗い、うがい、咳エチケットを心がけることも有効です。

ワクチン未接種の乳幼児がかかる
と重症化しやすく、亡くなること
もあるので、注意が必要です。

堺市感染症情報センターでは、
堺市内の感染症発生状況の情報
提供を行っています。最新情報
はこちらでご確認ください。

[http://www.city.sakai.lg.jp/
kenko/kenko/hokencenter/
eiken/id_db/eiken.html](http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/eiken/id_db/eiken.html)



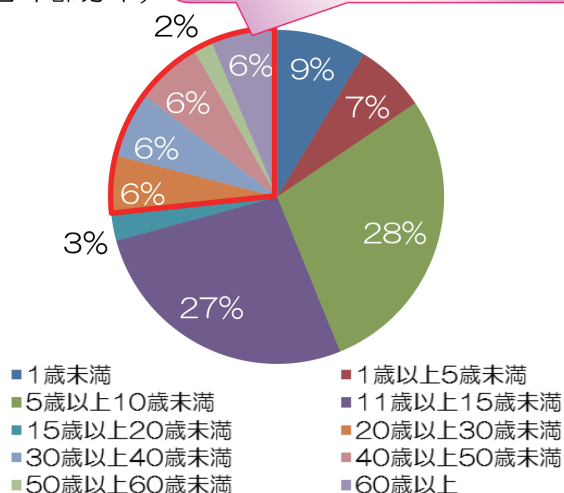
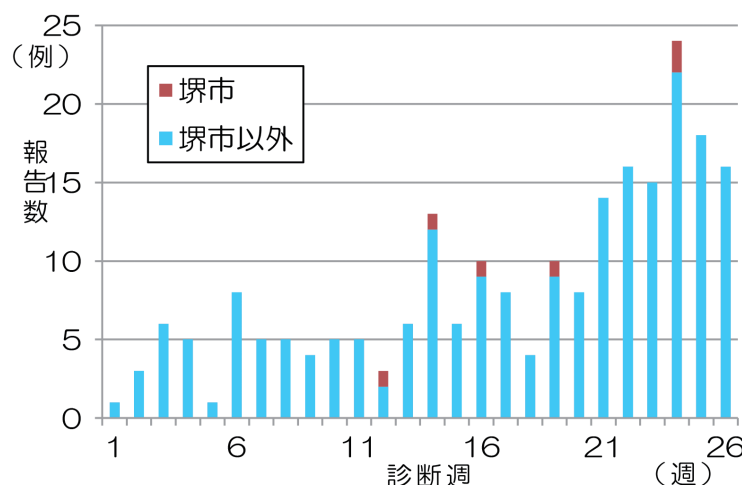
百日咳の詳細は、衛研だより第60号（平成29年2月発行）で取り上げています。併せてご覧ください。

（当所ホームページにて公開しています。）

大阪府内の百日咳発生状況（第26週まで）

（週別報告数）

（患者年齢分布）



成人の場合、症状が軽く済む
ため、気づかずに乳幼児など
重症化しやすい人にうつして
しまうことがあります。

※週の平均報告数：8例

（企画調整担当 木村）

発行者 堺市衛生研究所長 山本 憲 〒590-0953 大阪府堺市堺区甲斐町東 3-2-8
編集委員長 企画調整担当 杉本 光伸 TEL 072(238)1848 FAX 072(227)9991
E-mail eiken@city.sakai.lg.jp

「衛研だより」では、みなさまのご意見、ご感想をお待ちしております。